

別添（第1条関係）

可搬型モニタリングポスト点検業務実施要領

1 目的

愛媛県原子力センターで所有している γ 線測定用の可搬型モニタリングポストについて、「8 準拠基準等」に示す用途・機能等を維持することを目的とする。

2 対象機器

機器名	型式	数量
可搬型モニタリングポスト (株式会社日立製作所製)	MAR-5700BR2	10
充放電バッテリー	K-BAT-39	22
急速充電器	K-Z-61	20
電光表示器	K-EDB-30	10

3 保管場所

愛媛県原子力センター（愛媛県八幡浜市保内町宮内1-485-1）

4 点検概要

委託業務は、次により行うこととし、その範囲及び詳細は、別紙「可搬型モニタリングポスト点検表」のとおり実施すること。なお、本内容は点検項目の概要を示すものであることから、各点検項目の詳細な報告様式については、実施計画書に添付すること。

(1) 可搬型モニタリングポスト（原子力センター）

- ・点検 年1回
- ・部品交換

- ① 吸収剤（型名：MAR-5700-1（43）） 10式
- ② 9V積層乾電池（6LR61XJ/1S相当） 10式
- ③ コイン型電池（CR2032相当） 10式

5 点検条件

- (1) 当該機器に関し知識と経験のある専門の技術員により実施すること。
- (2) 点検に使用する測定機器等（校正用線源含む）は必要に応じ校正済み品を使用する等により点検の精度を確保すること。なお、これらは全て受託者で準備すること。
- (3) 点検に伴い交換が必要となる部品や軽微な消耗品の交換は本点検に含むものとする。
- (4) 作業終了時には、各種設定値を確認するとともに、正常動作を確認すること。
- (5) 点検作業により発生した不用品は受託者で適正に処分すること。
- (6) 点検状況の写真を撮影し、実施報告書に含めること。
なお、部品交換においては、交換前後の写真を撮影すること。
- (7) 可搬型モニタリングポストは愛媛県原子力センターに常時3台以上、使用可能な状態にしておくこと。
- (8) 点検内容に疑義が生じた場合は、当センターの監督職員へ確認すること。

6 報告

受託者は、点検結果を別紙「可搬型モニタリングポスト点検表」の内容を満たした点検表により報告すること。

7 その他

その他、疑義が生じた場合は協議等を行うこと。

8 準拠基準等

- 放射能測定法シリーズN0.17 連続モニタによる環境 γ 線測定法
(平成29年12月 原子力規制庁監視情報課)
- 平常時モニタリングについて (原子力災害対策指針補足参考資料)
(令和3年12月 原子力規制庁監視情報課)
- 緊急時モニタリングについて (原子力災害対策指針補足参考資料)
(令和3年12月 原子力規制庁監視情報課)
- 日本産業規格 (J I S)
- 日本電気工業会規格 (J E M)
- その他必要な規格・基準等

別紙

可搬型モニタリングポスト点検表

(1) 共通事項

1-1 外観点検

点検項目	内容・基準	結果
A 可搬型モニタリングポスト	機能に影響を及ぼす損傷がないか	
B 充放電バッテリー	機能に影響を及ぼす損傷がないか	
C 急速充電器	機能に影響を及ぼす損傷がないか	
D 電光表示器	機能に影響を及ぼす損傷がないか	

1-2 各部清掃

点検項目	内容・基準	結果
A 可搬型モニタリングポスト	盤内の塵を取り除き、各コネクタ等の清掃	
B 充放電バッテリー	盤内の塵を取り除き、各コネクタ等の清掃	
C 急速充電器	盤内の塵を取り除き、各コネクタ等の清掃	
D 電光表示器	盤内の塵を取り除き、各コネクタ等の清掃	

(2) 可搬型モニタリングポスト

2-1 点検前後の確認

点検項目	内容・基準	結果
A 点検前後の設定値	各種設定値	
B 点検前後の測定値	各種設定値	

2-2 性能試験

点検項目	内容・基準	結果
A 動作確認	電源を投入し、LCD表示を確認する	
B 絶縁抵抗	絶縁抵抗測定	
C 低圧電源	低圧電源測定	
D 内臓バッテリー確認	各電圧の確認	
E ADC回路のオフセット確認	オフセットchを確認する	
F 表示指示精度	各表示値を確認	
G 記録計出力精度	各出力電圧の測定	
H 時定数	時定数測定	
I NaI/SSD切り替え動作確認	切り替え動作を確認	
J 警報動作確認	各警報動作を確認	
K USB記録動作確認	正常に測定データが記録されていること	
L GPS取得動作確認	GPSデータが取得され、記録されているか確認	
M Cs-137キャリブレーション動作確認	Cs-137線源及び校正用治具を用いて、1mの距離より照射し、ピーク位置を確認	
N Cs-137線源照射試験	Cs-137線源及び校正用治具を用いて、1mの距離より照射し、照射値に対しての誤差を確認	
O LTE回線通信試験	正常にデータ通信できること	
P 衛星回線通信試験	正常にデータ通信できること	

(3) 充放電バッテリー

3-1 性能試験

点検項目	内容・基準	結果
A 残量表示確認	LEDの点灯状況を確認する	
B エラー表示確認	エラーLED表示を確認する	

(4) 急速充電器

4-1 性能確認

点検項目	内容・基準	結果
A 動作確認	外付けバッテリーが満充電になることを確認する	

(5) 電光表示器

5-1 性能確認

点検項目	内容・基準	結果
A 表示確認	線量値の表示状態を確認する	